



TFX-Artist

4.4 版

インストールマニュアル

更新日 : 2022 年 9 月 14 日

Photron
株式会社フォトロン

目次

インストール	3
1. 必要システム構成	3
2. ライセンス.....	3
3. インストール手順.....	4
A) 当アプリケーションのインストール	4
B) ライセンスファイルの配置	5
C) NVIDIA グラフィックスの使用設定【ターンキー環境では設定不要】.....	5
4. 機器の接続.....	8
ビデオ入／出力の接続	8
VTR 機器の接続	8
GPI 機器の接続.....	9
5. フォルダ構成.....	10

インストール

当アプリケーションのシステム構成、インストール手順などを説明します。

1. 必要システム構成

当アプリケーションの動作に必要なシステム構成を以下に示します。

ハードウェア

- ✓ プロセッサ : 2GHz x 2 コア以上 (4 コア以上推奨)
- ✓ 画面解像度 : FullHD (1920x1080) 以上
- ✓ グラフィックスカード : NVIDIA 社製グラフィックスカード(GeForce または Quadro シリーズ)

ソフトウェア

- ✓ Windows10
- ✓ Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable(x64) (セットアップファイルに同梱)
- ✓ Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable(x64) (セットアップファイルに同梱)

2. ライセンス

当アプリケーションの利用にはライセンスファイルが必要になります。

お手持ちのライセンスファイル [VortexTFX-Artist.lic](#) を、アプリケーションフォルダへ置いて下さい。

アプリケーションフォルダ

- C:¥ProgramData¥Photron¥TFX-Artist¥App

3. インストール手順

インストールには管理者権限が必要です。管理者権限を持つユーザーでログイン後に行ってください。

A) 当アプリケーションのインストール

- (1) ダウンロードした「TFX-Artist[バージョン番号]_Setup.exe」を実行します。
開始時に、Windows セキュリティ機能により「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合がありますが、[はい]をクリックし、変更を許可してください。
- (2) セットアップに使用する言語の選択で、「日本語」を選択して[OK]をクリックします。
- (3) 使用許諾契約書の内容を確認の上、「同意する(A)」を選択して[次へ(N)>]をクリックします。
- (4) デスクトップ上に各種アイコンを作成する/しないを選択し、作成する場合はチェックを入れて[次へ(N)>]をクリックします。
- (5) 画面に表示されている内容に問題なければ、[インストール(I)]をクリックします。
- (6) [完了(F)]をクリックして再起動します。他のアプリケーションを開いている場合は、「後で手動で再起動(N)」を選択し、[完了(F)]をクリックすることをお勧めします。

B) ライセンスファイルの配置

ライセンスファイル([VortexTFX-Artist.lic](#))がない場合は、アプリケーションフォルダ直下にコピーして下さい。

アプリケーションフォルダ

- C:¥ProgramData¥Photron¥TFX-Artist¥App

C) NVIDIA グラフィックスの使用設定 **【ターンキー環境では設定不要】**

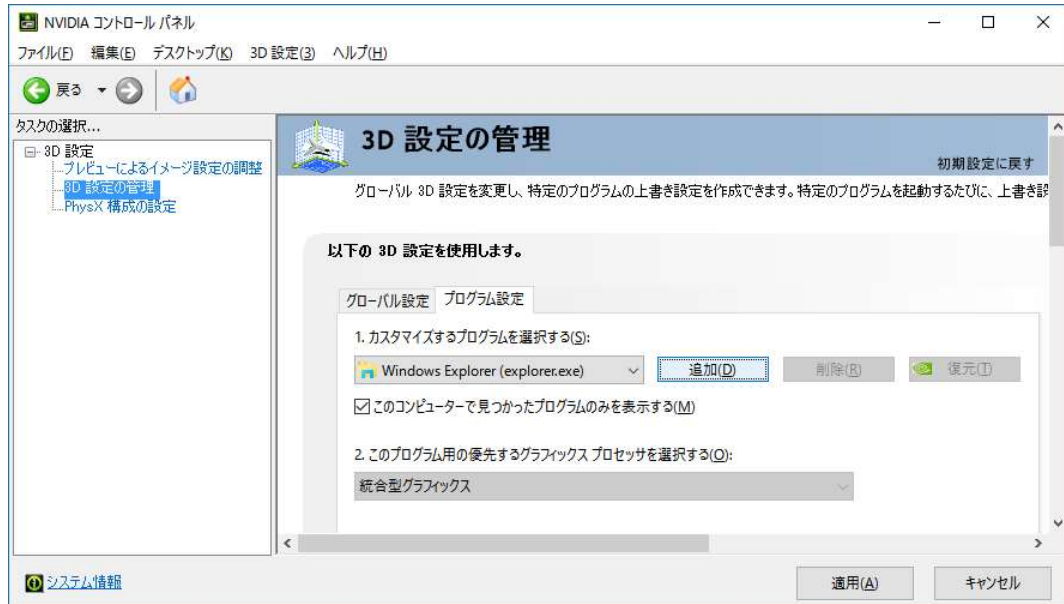
アプリケーションをインストールした PC が、NVIDIA グラフィックスカード/プロセッサだけでなく、インテルのオンボードグラフィックスを搭載している場合、アプリケーションが NVIDIA グラフィックスを使用するように設定する必要があります。

NVIDIA のグラフィックスカード/プロセッサのみを搭載している PC であれば、以下の設定は必要ありません。

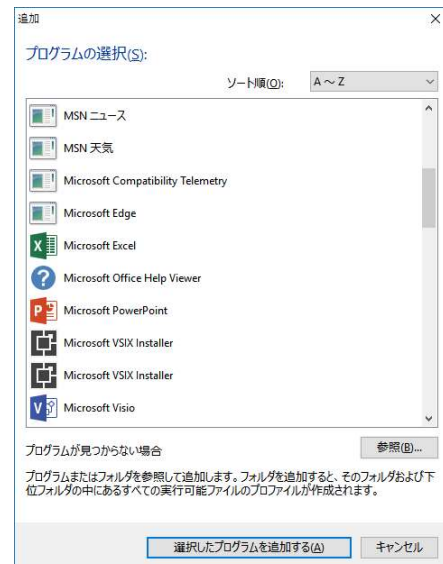
- (1) デスクトップでマウス右ボタンをクリックし、ポップアップメニューを表示して「NVIDIA コントロールパネル」を選択、NVIDIA コントロールパネルを起動します。



- (2) 起動した NVIDIA コントロールパネル画面左側のツリーより「3D 設定の管理」を選択します。
- (3) 「プログラム設定」タブを選択し、「1.カスタマイズするプログラムを選択する」の「追加」ボタンを押下します。



- (4) プログラムの選択ダイアログが立ち上がるので、画面右下の「参照...」ボタンを押下してファイルブラウザを立ち上げます。インストールフォルダ「C:\Program Files\Photron\TFX-Artist」から「TFX-Artist.exe」を選択して「開く」ボタンを押下します。



- (5) 「2.このプログラム用の優先するグラフィックスプロセッサを選択する」のセレクトメニューで「高パフォーマンス NVIDIA プロセッサ」を選択します。



- (6) 同様に、インストールフォルダ「C:\Program Files\Photron\TFX-Artist」から「NgtConsole.exe」を選択して「開く」ボタンを押下し、こちらも「高パフォーマンス NVIDIA プロセッサ」を選択します。
- (7) 「適用」ボタンを押下し、設定を反映させます。

4. 機器の接続

ビデオ入／出力の接続

ビデオ入／出力は、以下の各端子に接続して下さい。



TFX-Artist のアプリケーション設定で入力 ch の設定、出力 ch のビデオ信号種別 (Video, Key, Mixed) の変更が可能です。

詳細は「TFX-Artist_操作マニュアル」の「3.18.アプリケーション設定ダイアログ」を参照して下さい。

VTR 機器の接続

当アプリケーションでは、VTR 機器を接続することで画面上からの操作が可能です。

VTR 機器の[REMOTE]等と表示されている端子と、K3G-Box の[RS-422]マシンコントロールポートを接続して下さい。



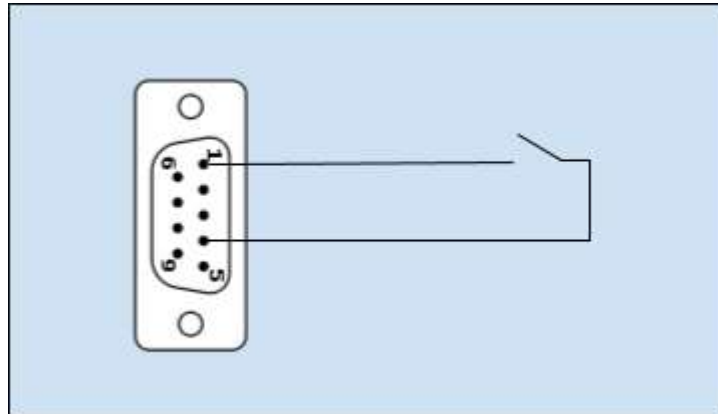
接続機器の操作には VTR コントロールボックスを使います。詳細は「TFX-Artist_操作マニュアル」の「3.17.VTR コントロールボックス」を参照して下さい。

GPI 機器の接続

GPI を動作させるには、RS232C ポートを使用します。

配線について

- リレー接点で 1 番ピン(DCD)と 4 番ピン(DTR)をショートします。



ケーブル長について

- ケーブル長は 7m 未満で接続してください。
- ケーブル長が長い場合正常に動作しない場合があります。
- RS232C は、規格上、通信可能ケーブル長が約 15m となりますが、このケーブル長は PC-PC または PC-電源を有する機器との通信する場合ですので、本 GPI 動作の場合、一旦出力した 4 番ピン (DTR)の-12V が信号の変化を検出する 1 番ピン(DCD)に 戻りますので有効ケーブル長は半分の約 7.5m となります。実運用 (使用ケーブルのスペックや拾うノイズ等) を考慮するとそれ以下での使用が望ましいといえます。
- ケーブル長を 7m より延ばす場合、外部制御機器からの GPI 信号を一旦、リレーBOX 等で受けて本 GPI に使用する RS-232C ポートに接続してください。

5. フォルダ構成

当アプリケーションは、システム上に以下の作業フォルダを作成、利用します。

パス	内容
C:¥ProgramData¥Photron¥TFX-Artist¥	
└ App	アプリケーション設定、標準スタイルなどを保存します。
└ Log	各種ログファイルを保存します。
└ Graphic	標準のグラフィック保存フォルダです。グラフィックファイル群を格納します。
└ Capture	標準のキャプチャ保存フォルダです。アプリケーション設定で変更できます。ビデオ入力のキャプチャ画像などを保存します。
└ User	標準のユーザー保存フォルダです。アプリケーション設定で変更できます。手動で他の場所に作成することも可能です。
└ Data	マクロなどのデータの保存フォルダです。アプリケーション設定で変更できます。
└ Deploy	動画を展開した際の一時ファイル保存フォルダです。アプリケーション設定で変更できます。
└ LUT	ノンリニア連携用の LUT ファイルを保持するフォルダです。アプリケーション設定で変更できます。

インストールマニュアル - TFX-Artist

- ・本書の著作権は、株式会社フォトロンが所有しています。
- ・本ソフトウェア/システムの仕様および本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
- ・本ソフトウェア/システムの品質・機能等に関して、一切の保証を行いません。
- ・本ソフトウェア/システムおよび本書を運用した結果の影響については、いかなる件にも責任を負いかねます。
- ・本ソフトウェア/システムおよびマニュアル等の複製・譲渡・リバースエンジニアリングは禁止といたします。
- ・記載の会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。